

「気の不思議：東洋医学は気の医学です」

(1) はじめに

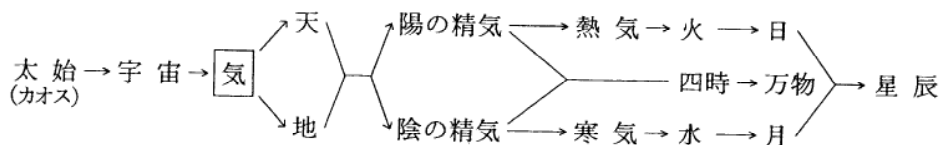
生命現象の根源を、中国では気、インドではプラーナ、ギリシャではプノイマ、ラテン語ではスピリットと古代の人は呼びました。また、病気・元気などの言葉をみれば分かるように、東洋医学は気と深い関係にあります。さてそれでは、中国人の言う「気」は何でしょうか、病気という言葉の中にある「気」とは何でしょうか？

(2) 気という言葉について

1、古代中国人にとって「気」とは何か

- ①生物と天地の、呼吸すなわち氣息と風が気の原初的イメージであったようです。
- ②現象界における一切の存在ないし機能の根源を気としたようです。
- ③生命の根源を気とし、人間の精神機能を司る心の働きも気としました。
- ④物・命・心の三界はすべて気の働きによるものであるとしました。

2、古代中国人の宇宙生成の考え（宇宙生成論）



古代中国人にとって気は生命の根源であり、自然の摂理であり、宇宙生成の原動力のようです。したがって、中国人にとっての医学は「気の医学」が根底をなしているのです。

3、日本語の中の「気」

- ①自然現象に関する複合語：天気、春気、気象、幽気、香氣、元気
- ②人間が発するものに関する複合語：正気、意気、神気、氣息、根気
- ③その他に関する複合語：病気、景気、空気、蒸気、氣質、気配、電気、磁気

1) 気の働きの表現

気遣う、気懸かり、気が合う、気が枯れる（けがれる→汚れる）、気が狂う、気が違う、気色が悪い、気味が悪い、気品が高い、気位が高い

3) 「新撰漢和辞典 1949年」における気の解説より

本質的には無形のものをついふ。

- ①くうき・空気。地球を包圍し、動けば風となり、我々が呼吸して生息する所以の流体
- ②風雨・寒暑等々の自然現象
- ③水蒸気・雲・煙などの類

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ④香・光・熱などの類 | ⑤いき（息）、呼吸 |
| ⑥もと、萬有の根源 | ⑦いきほひ、身神の勢力 |
| ⑧もちまへ、性質、本質 | ⑨こころ、意志、精神 |
| ⑩俗に怒ること | ⑩おもむき、けはい、おおしるみ、趣致 |
| ⑫とき、せつ、時候 | ⑬かぐ、物のにほひを嗅ぐ |
| ⑭陰暦で、一年を二十四分した期間、十五日間（三候） | |

4, 「澤田洋太郎著 ヤマト国家成立の秘密 新泉社」より

日本語の特質について考えると、そのことを抜きにしては日本語を論ずることができないほど世界中で類例のない奇妙な特徴として「気」という言葉を乱発することである。

われわれ日本人は無意識のうちに、「気がする」・「気になる」・「気がつく」・「気分がいい、悪い」というように「気」という言葉をやたらに使っている。また、「元気」・「天気」・「景気」など、日常生活上の会話にも学問的な表現にも、およそ「気」という言語使わずに物事を言い表すことはほとんど不可能なぐらいだ。それなのに、「気とは何か？」と外国人に問われたとすると、ほとんどの人は答えに窮するはずである。

そこで、日本語の「気」という言葉の用法について色々の辞書を調べてみると、次のようなことになるだろう。そもそも、人間の肉体の中には「魂」が宿り、それが意識活動をするとき、それを「心の働き」といい、「心の働き」はもともと自発的なものではなく、人間の外部にある「気」の作用によることになる。すなわち、「気」とは生命の根源であり、それが体内に入って「魂」となり、宇宙に満ちている「気」のエネルギーが人体に吸収されると「心の働き」が起こるのだ。そういうふうには日本人は人間と宇宙の関係をとらえているため、個人的に「思う」という代わりに「気がする」と言い、自分が「発見した」という代わりに「気がついた」と表現することになる。つまり、宇宙と人との一体感を基礎として「心の動き」を捉えているとすべきだというわけだ。

ここで確認しなくてはならないことは、この「気」という言葉は本来のヤマト言葉ではなく、明らかに中国語であり、しかも道教の基本概念であるということだ。道教思想の根本とは、宇宙万物の容れものである「道（タオ）」があって、それは森羅万象を動かすエネルギーである「気」によって満たされており、それが分かれて陰陽が生じる・・・・という玄妙深遠な哲理のことだ。ところが、驚くべきことは、日本人ならどんなに教養の乏しい人でも、そもそもが道教の基本概念だった「気」という言葉をふんだんに日常語に使っていることだろう。このように、「気の哲学」の根本原理を民族の体質的なものとして受け継いでいることは、かなり古くから「気」という考えが日本民族文化の最重要な要素になっており、大衆の心の底に深く定着し、今日まで生き続けてきたということになる。

(2) 気とエネルギーとの関係

1, 「広義の気」

無・空から宇宙が始まり、エネルギーが生じ、物質・形態が生じ、生命体・生物が生

じた。この一連の過程を引き起こす根源の働きを「気」と呼ぶ。

2, 「狭義の気」

気にも、物質レベル、生命レベル、精神レベルと三段階がある。生命現象・精神現象を観察していると、電磁エネルギー・力学的エネルギーと異なるエネルギーによって引き起こされる現象がある。これを引き起こすものを気と考えるとよい。

気の現象において、気は直接に検出・測定できない。気のエネルギーによって物体や空間が変化したことが測定機器によって検出されるのである。また、気と電磁波との一番の違いは次のことである。すなわち、気はすべてのものに浸透する、遠隔操作やテレパシーが無時間的に行われ、そして逆エントロピーの性質があることである。

3, 気とエネルギー

現代物理学では、エネルギーは力学的エネルギーとその他のエネルギーに分けられている。その他のエネルギーとは電磁エネルギー・化学的エネルギー・核エネルギー・万有引力(≒重力)である。この中で万有引力が他のエネルギーとまったく性格が異なっているだけでなく、その力がどうして生じているかが未だ説明されていない。気は引力・重力に似た力・エネルギーではないかと推定されている。ある人は、生命レベルの縦波の原子波・中性子波・スカラー波が気の本体とであると説明している。

4, 気と未知のエネルギー

気とは形が見えないが働き(機能)のあるものだといわれていますが、気はいまだ科学的にはほとんど解明されていません。しかし、世界中の多くの人が科学的に捉えられていないエネルギーを解明しようと努力してきました。それらのエネルギーは次のような色々な表現で呼ばれています。

- ①気(気功法)
- ②プラナ(ヴェーダ哲学、ヨーガ)
- ③オルゴン・エネルギー(ライヒ)
- ④タキオン・エネルギー(ユージェン)
- ⑤オド・エネルギー(ライヘンバッハ)
- ⑥動物磁気(メスメル)
- ⑦エロプティック・エネルギー(ヒーロニマス)

(3) 気と身体との関係、見える体と見えない体

西洋医学・現代医学は「身体の中に頭脳があり、頭脳の機能として精神がある」と捉えており、「魂」とか「霊」とか「見えない体」とかいうものは実体としてあるとは認めていません。

ところが、そうではない見方も世界中にはたくさんあるのです。ヨーガでは、人間は

異なる次元の三つの存在、すなわち肉体・微細身・原因身から構成されていると説明しています。シュタイナーらの神智学ではエーテル体・アストラル体・メンタル体・コーザル体等に分けています。チベット仏教では、輪廻の主体の靈魂を想定しており、肉体の死後の中有では霊として存在しているものが、受精卵発生した身体の中に入って結生が起こり、生命体となって母胎に着床するといえます。日本神道の一部では霊体・幽体というエネルギー体があると言う者もいます。

鍼灸医学・気功治療では「見えない体」というものがあると想定しないと、色々な現象や治療メカニズムがうまく説明できません。経絡・経穴（ツボ）は「見えない体」の表面にあり、気は経絡中を流れており、気やオーラは経穴・チャクラから出入りすると考えられています。

したがって、鍼灸は身体に治療しているのであるが、その目的は「見えない体」の治療をしているのであり、「見えない体」にエネルギーを注いだり、エネルギーを抜いたりしているのです。気功治療になると、身体の治療をいうより、そのものすばり「見えない体」の気の流れを調整することによって身体の調和を図っているのです。

（４）気の医学とは

1, 体内をめぐる気のルート（経絡）の発見が気の医学の発展につながりました。医療は気のバランスの回復、養生は気のコントロールが目的です。気を巡らす術として呼吸法・導引（気功）・鍼灸を考え出しました。気功とは、気を訓練・鍛錬するという意味であります。

2, 気の治療の一番原初的なものは「手当」です。

「日のいる時さまざまの病を患う者をもつ人は、みな之をイエスに連れ来たれば、いちいちその上に手を置きて医し給う（ルカ伝）」

手掌から強力な気を出すことのできる人は、手を当てることで病変部を癒すこと（ヒーリング）ができるのです。中国の気功師はこの治療法を発展させて気功治療を行います。

3, 針灸治療は単なる神経・筋肉の刺激治療ではなく、気を調整し経絡を調整する高度な治療法なのです。自分でできるものとしては太極拳や気功体操があります。また、森林浴・丹田呼吸法・ハタヨーガなどもすぐれた気の養生法です。座禅・瞑想・合気道・などの武道・書道なども同様です。

4, 病気の原因には、身体の異常、精神の異常、気の異常によるものがあります。身体の異常は検査によって調べることができますが、精神の異常と気の異常は検査で調べてもわかりません。

ところで、気が身体と精神を統括していますので、気を調整すると身体も精神も治療することができます。

5, 気が身体と精神をコントロールし、統合していると考えられる。身体の異常、精神の異常だけでなく、気の異常も診断することが大切である。気の異常をもっとも簡単にとらえる方法にはバイデジタルー O ーリングテストがあるが、検者の手をセンサーとして患者にかざして検者の筋肉の緊張度合い（筋のトーンズ）の変化を捉える方法のほう

がより正確であり、鋭敏であり、迅速である。気功・鍼灸・按摩・導引で気を補い気の流れを調整し、漢方薬で血と水を調整するのが中医学である。気がわかると、漢方薬の気と患者の気が合うかどうかがわかり、漢方薬の診断も正確にできるようになる。

(5) 気の治療・気功治療の実際

1, 気功治療は五感を使って治療をします

1) 触覚

①手当（てあて）・ハンドヒーリング

気功治療の原点は手を体表に当てて気の流れを調整することにあります。手当とかハンドヒーリングといわれるものです。乳児は気の流れがよくて、手足からたくさんのが出ています。だから、赤ちゃんをだっこしたり、おんぼしたりすると気持ちがいいのです。また、赤ちゃんの手掌や足裏を自分の肩に当ててみると気持ちがよくて肩こりがよくなります。

どんな人でも手から気は出ているので、10～30分間手掌を患部に当てていると痛みなどはかなりよくなります。子どもさんが腹痛を訴えるときは試みて下さい。

②按摩・指圧

③独姑などの法具を当てる

④鉱物・結晶・宝石を当てる（クリスタルヒーリング）

⑤磁石を当てる

2) 視覚

①頭の中にイメージなどを想起する（曼荼羅瞑想など）

②曼荼羅、絵画などを鑑賞する

③カラーセラピー

3) 聴覚

①マントラ、呪文・真言を唱える

②声明・宗教音楽（グレオリオ聖歌、聖女ヒルデガルト・フォン・ビンゲンのリード）を聴く

③クリスタルボウル・シンギングボウル・鈴・石笛・木魚・サヌカイト等の音を聴く

④川のせせらぎ・雨だれの音・海の波の音（潮騒の音）・滝に落ちる水の音などの「1/fのゆらぎ」の音を聴く

⑤1分間に60回のリズムのメトロノームの音を聴く。ある特定の音叉の音を聴く

4) 嗅覚

香（香道）・オイル（アロマセラピー）、ハーブなどの匂いを嗅ぐ。

5) 味覚

- ①薬膳料理、ハーブなどを食べる
- ②漢方薬を服用する
- ③気が豊富に入っている水を飲む
- ④七行（七種類）気が含まれている食物を食べる

6) その他の方法

- ①体操：操体法、野口三千三体操、ヨーガ、太極拳、栗田昌裕の指回し健康体操
- ②呼吸法（ヨーガ）
- ③ダンス・舞踊
- ④ラティハン
- ⑤スワイショー
- ⑥多面体をつかった気功（多面体気功）
- ⑦ラビリンス・テクニック（迷路を描く、迷路を歩く）
- ⑧瞑想（止：シャマタ、観：ヴィパッサーナ）

(6) 気の異常が起きる原因

これの原因はいまだによく分かっていません。気の本質が解明されたなら、これらのことははっきりすると思います。以下は不完全な説明であり、仮説として説明いたしますのでご了承ください。

- ①自分にとって気の合わない鉱物（結晶・金属・宝石）や磁石を身につけたとき
- ②強い電磁波を浴びたとき
- ③トキシンといわれる気の合わない食品を食べたとき
- ④気の合わない人と接触したとき
- ⑤風水・家相のよくない家・土地に住んでいるとき
- ⑥ウイルス感染を受けたとき
- ⑦質のよくない水を飲み続けたとき
- ⑧不適切な気功治療を受けたとき
- ⑨いわゆるカルマによるもの（前世の影響??）
- ⑩幽界・霊界の存在者から影響・通信によるもの???
- ⑪電話線・電話機、テレビ、パソコンのインターネットを通じていわゆる邪気といわれるものが侵入したとき???
- ⑫宇宙からくる異常な電磁波（光を含む）によるもの???
- ⑬他人の強い念（ねたみ、そねみ、うらみという感情）を受けたとき???
- ⑭印鑑・表札・名前が合わないとき???
- ⑮フーチ診断、ダウジング、コックリさんを行ったとき

(7) その他の注意点

- ①自分自身を気功治療することは問題ありませんが、他人の気功治療をしないようにしましょう。時に大変むづかしい事態になることがあり、それを解決できる経験と技量が

ないととても困ることになります。また、他人から手当やハンドヒーリングを受けることも十分に注意しましょう。

② Oーリングテストというものがありますが、これはとてもむづかしいデリケートなテストです。このテストは気の診断のテストであります、気のことを充分に知っている人でないと使いこなすことが難しいテストであります。おそらく日本の医師でも正確にこのテストをできる人はごく少数しかいないと思われれます。ちまたでこのテストをやる人がいますが、あまり信用しない方が無難です。

また、このテストは意識や念の影響をもろに受けますので、その影響をうけない対策をしていないと、正しいテストはできません。優秀なテストであります、とてもむづかしくデリケートなテストであることを充分に知っておいてください。

③身に付ける物はすべて自分と気が合うかどうか注意してください。

指輪、ネックレス、ピアス、ブレスレット、眼鏡、義歯、歯科の補填物、ヘアバンド、バンダナ、お守り、ブラジャーのワイヤー、下着のタグシール、化粧品など

④手足や体にプリントするとか、色を塗るとか、文字・図案を描くとかは特に注意しましょう。とても強い影響を受けることがあります。

⑤気に関する本、気功治療に関する本にはよい本はありませんので、本にはあまり期待しないでください。そして、本に書いてある内容をけっして鵜呑みにしてはいけません。6

⑥気の流れをよくするといううたい文句の気功グッズには注意しましょう。よいものは少なく、むしろ悪い影響を与えるものが多いようです。

⑥テレビ、ビデオ、DVD でホラー・幽霊などの内容のものをけっして見てはいけません。強く邪気の影響を受けることがあります。またパソコンのインターネットでアダルトサイト見ると、エネルギーを吸い取られと同時に邪気を受けることよくありますので、十分に注意しましょう。

⑦自宅に邪悪な内容の本・ポスター・写真・ビデオ・DVDなどを置かないようにしましょう。時にそれらから強い邪気が出ていることがあるからです。

⑧気の豊富な物品や場所はさわやかな感じがし、明るく、気持ちが良い感じがします。そうではなく、暗く・不快で・いやな感じがする時は注意しましょう。自分の直感・感じが大切です。

⑨幽体離脱ができるようになるというビデオ・DVD・CDが売られていますが、ほとんど成功することがないようですし、これには優秀なガイドがついていないととても危険なことになりますので十分に注意してください。

⑩海外旅行でむやみに遺跡・宗教施設には近づかないようにしましょう。お土産に宗教用品を買って帰ることは危険なことがありますので、十分に注意してください。骨董品も要注意ですので、慎重に吟味してください。

⑪気に敏感な人は、葬式に参加したり霊場（火葬場）に出入りしたり、病院に見舞いに行くことは、できるだけ避けるほうが無難です。

⑫宝石、鉱物は強い気を発したり、情報を媒介したりして、所有者に強い影響を与えることがありますので注意しましょう。